

2026年2月1日（日）

降誕節第6主日

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

＜神の招き＞

前 奏 ①ほめたたえよ、力強き主を ヴァルター
②私は神より離れない プクステフーデ

招きの詞 詩編47:2~7

交読詩編 126:1~6

讃美歌 7

＜神の言葉＞

聖 書 詩編8:1~10
(旧約 聖書協会共同訳 825 頁)
へブライ人への手紙2章2:1~9
(新約 聖書協会共同訳 393 頁)

祈 禱
讃美歌①55
奉 唱②472
説 教 「大いなる救い」 熊江秀一牧師

祈 禱
讃美歌 451

聖 餐
讃美歌 78

＜神への応答＞

信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣 教 報 告②

頌 栄 29

派遣と祝福

後 奏 ①我らに救いは来たりぬ バッハ
②わが愛しき神に ハンフ

宣 教 報 告①

夕 礼 拝 18:00~19:10

＜神の招き＞

前 奏 神のなさることはいつもよい バッヘルベル

招きの詞 詩編47:2~7

交読詩編 126:1~6

讃美歌 13

＜神の言葉＞

聖 書 詩編80:1~3
(旧約 聖書協会共同訳 900 頁)
ルカによる福音書6:12~19
(新約 聖書協会共同訳 111 頁)

祈 禱
讃美歌 76
説 教 「十二人を選ぶ」 佐藤潤伝道師

祈 禱
黙 想
讃美歌 463

聖 餐
讃美歌 78

＜神への応答＞

信 仰 告 白 日本基督教団信仰告白

献 金

主の祈り

宣 教 報 告

頌 栄 26

派遣と祝福

後 奏 主よ、私はあなたを愛します シャイデマン

今週の御言葉

この救いは、主が最初に語られ、それを聞いた人々が私たちに確かなものとして示しました。さらに神も、しるし、不思議な業、さまざまな奇跡により、また、御心に従い聖霊の賜物を分け与えることによって、証ししておられます。
(へブライ人への手紙2章3b~4節)

次週の礼拝（2月8日）

① 9:00、② 10:30 夕 18:00

説教「主イエスは私たちのきょうだい」 熊江秀一牧師

詩編22:20~32、へブライ人への手紙2:10~13

交読詩編147:1~11

讃美歌8、56、419、29

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 2月の宣教の為に
4. 地域会の為に
5. 日本基督教団の宣教の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄弟の為に

*関東教区お祈りカレンダー 三芳教会 所沢武蔵野教会 所沢みくに教会

これまで語られてきた教えの中心である「神の秘義」、すなわちキリストの十字架によって分断されていた者たちが一つの新しい人とされ、教会として形づくられたという救いの現実を受けて、パウロは教会のために父なる神に祈りを捧げている。その祈りの中心は「内なる人を強める祈り」である。「内なる人」とは、聖霊に導かれて生きる信仰そのものである。

私たちはすでに洗礼によってキリストに結ばれ、神の家族とされているが、なおこの世に生き、罪と悪の力にさらされている。その現実の中で、信仰は揺らぎ、弱さを覚える。だからこそパウロは、聖霊によって信仰が守られ、強められるようにと執り成し祈っている。信仰が強められるとき、キリストは私たちの心の内に確かに住まわれる。

キリストが支配してくださるところに、不安や恐れに代わって、キリストの愛が根を下ろす。

その愛に根ざして生きることは容易ではない。私たちは自己中心的であり、自分を守るために他者を裁いてしまう弱さがあるからである。しかし、キリストの愛を知り、受け入れるとき、その生き方は安心と喜びに満ちたものへと変えられていくのである。

この愛は、一人で味わうものではない。教会という神の家族の交わりの中で、礼拝を通して、共に知らされ、共に分かち合われるものである。そしてパウロは、「人知をはるかに超えたキリストの愛を知り、神の満ち溢れるものすべてに向かって満たされますように」と祈る。教会の希望は、人間の力や外的状況にあるのではなく、内なる人を強めてくださる神の力にある。弱さを抱える教会を通して、神はなおご自身の栄光を現される。だからこそ私たちもまた「内なる人を強めてくださるように」と祈りつつ、キリストの愛に生かされ、神の栄光を現す教会として歩んでいきたい。

*礼拝中、起立が無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈祷当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。